

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(精神科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2012年4月1日～2029年9月30日の期間に、当院と研究共同機関にて統合失調症と診断され、電気けいれん療法を受け、中等度以上の改善が得られた患者さん	
② 研究課題名	統合失調症に対する電気けいれん療法反応後の維持薬物療法についての検討	
③ 実施予定期間	2025年8月7日～2030年9月30日	
④ 研究組織	当院の研究責任者 独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 精神科 科長 大盛 航  研究機関の長 呉医療センター 院長 繁田 正信  研究代表者 独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 精神科 科長 大盛 航  共同研究機関 医療法人社団更生会 こころホスピタル草津 副院長 藤田 康孝	
⑤ 使用する試料・情報	収集する診療情報は下記の通りです。 発症年齢、ECT 施行時の年齢、性別、BMI(身長・体重)、既往歴、ECT 施行回数、ECT 前後のBPRS(簡易精神症状評価尺度)スコア、ECT 前後の Clinical Global Impressions - Severity (CGI-S) スケール、ECT 前後の Clinical Global Impressions - Improvement (CGI-I) スケール、ECT 前後の Global Assessment of Functioning (GAF) のスコア、ECT 前後の CP(クロルプロマジン)換算量、過去の精神病性エピソード回数、ECT 終了後の内服薬など ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。	
⑥ 目的	電気けいれん療法(ECT)はうつ病や統合失調症において、非常に効果のある治療法です。しかし統合失調症の急性期 ECT 反応後の1年間の再燃・再発率は40～60%と非常に高く、維持薬物療法のエビデンスが乏しいです。そこで、診療録の後方視的調査を行い、寛解維持に優れた薬物を同定することが本研究の目的です	
⑦ 方法	2012年4月1日～2029年9月30日の期間に、当院とこころホスピタル草津において急性期 ECT を行い、中等度以上の改善が得られた統合失調症の患者さんを対象に、⑤に記載の診療情報をカルテより抽出し、診療録の後方視的調査を行います。単変量解析にて薬物を含めた再発予防因子を抽出し、抽出された項目に年齢、性別、BMIなどを加えた多変量解析を行うことで寛解維持に優れた薬物を同定します。	
⑧ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025 年 8 月 7 日
	院長承認日	2025 年 8 月 7 日
⑨ 公表	個人情報保護をうけて、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。	
⑩ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。	

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(精神科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

⑪ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑫ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑬ 問い合わせ	連絡先	大盛 航	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 精神科			

呉医療センター院長